

春の矢板を駅からハイキング

4月14日(日)、JRと矢板市共催による駅からハイキングが、今年も行われました。残念ながら桜の見ごろは終わっていましたが、当日は天気にも恵まれ、新緑と春の花々が咲いている中のハイキングとなりました。まず、矢板駅で野州轟一番太鼓の演奏で出迎えられた参加者は、川崎城跡や道の駅やいた、矢板武記念館など矢板市の史跡や見どころを巡るコースへと出発しました。コース途中の御前原公園では、「はしか地藏尊縁日」が、木幡神社では「春季例大祭」が開催されていました。参加者は、はしか地藏尊縁日で振る舞われたお茶を楽しんだり、木幡神社の太々神楽の迫力に目を奪われていました。また、「矢板ふるさとガイド協議会」の観光ボランティアガイドによる文化財や史跡についての丁寧な説明に、多くの参加者が耳を傾けていました。



全国大会で敢闘賞

3月31日(日)、茨城県水戸市で第54回全国選抜少年剣道錬成大会が行われ、剣道教室「五葉館」の皆さんが敢闘賞を受賞しました。この大会には、北は北海道から南は沖縄まで416チームが参加し、行われています。参加した皆さんは「次はもっと良い成績を残せるように頑張りたい」と力強く話していました。



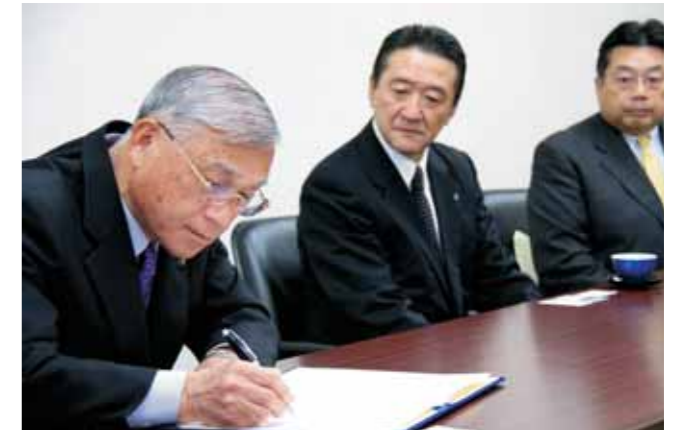
南産業団地にメガソーラー発電所

3月21日(木)、矢板南産業団地第3街区において合同会社クリスタル・クリア・ソーラーのメガソーラー施設である「シャープ矢板太陽光発電所」の竣工式が行われました。この発電所は、とちぎ環境立県戦略に掲げた「とちぎサンシャイン」プロジェクトに基づくメガソーラー事業として、県企業局が事業候補者としたシャープ株式会社の企画提案を基に、矢板南産業団地第3街区で建設されたものです。稼働する太陽光発電所の設置容量は約2.3MW-dc、年間発電量は約234万kWhとなり、一般的な家庭の年間消費電力量に置き換えると約650世帯分に相当します。



災害時に救援物資を提供

3月27日(水)、市役所で、株式会社伊藤園と市による「災害時における救援物資の提供協力に関する協定書」が結ばれました。この協定では、災害が発生した時に対応型の自動販売機の飲み物を無償で提供されることが約束されました。今後は、この自動販売機が市の施設に設置される予定です。



市消防団辞令交付と操法講習会

4月6日(土)、矢板市消防団の辞令交付式と操法の講習と訓練が行われました。今年は新たに23人が入団し、辞令を受けた後、早速矢板消防署の職員から指導を受けながら放水訓練を行いました。その後は、駐車場に移り、礼式訓練を実施。敬礼の行い方、また団体行動の行い方などを学びました。皆さんのこれからの活躍が期待されます。

